

幡豆町立東幡豆小学校



< 10月15日 >

幡豆町は山あり、海ありで自然がとても豊かです。この時期、越冬のために渡りを行うことで知られるアサギマダラという蝶が、この幡豆町を休憩場所（経由場所）としているため、やってきます。しかし、そのことを子供たちに聞いても、ほとんどの子が首をかしげます。

本校から東へ徒歩で20分のところに「愛知こどもの国」があります。10月上旬、そこにアサギマダラが飛来し始めているという連絡が授業名人の渥美守久先生（元小学校教諭・現在全国愛鳥教育研究会副会長）からありました。

さっそく総合的な学習の時間で「幡豆の自然」に取り組んでいる4年生が出かけていきました。渥美先生から「この蝶は、約8日間かけて沖縄まで飛んでいくんだよ」と教えていただくと驚きの声をあげていました。また、虫取りあみでとらえた蝶にマーキングをしました。そして、沖縄に無事にたどり着くことを願い放してやりました。

幡豆に住む子どもたちが幡豆の自然について大きな学びを得た瞬間でした。